

# NEWS RELEASE

報道関係各位

平成 27 年 4 月 27 日

## ネットワークインフラの完全ユニファイド化を目指して

- 「AMF」、UTM&VPN ルーター/無線 LAN アクセスポイント対応と、AMF ネットワークの大規模化を実現-

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、コントロールファブリックカード「AT-SBx81CFC960」のファームウェアをバージョンアップし、新ファームウェア AlliedWare Plus(AW+)5.4.5-0.1 の当社ホームページからのダウンロードサービスを4月27日より開始します。あわせて、新製品「SwitchBlade x8100 シリーズ用ライセンス」をリリースします。

アライドテレシスの AMF<sup>(※1)</sup>は、ファームウェア AW+5.4.5-0.1 より、UTM&VPN ルーター、無線 LAN アクセスポイントに対応するとともに、AMF マスターの分散による AMF ネットワークの大規模化が可能となり、大規模ネットワークインフラの完全なユニファイド化が実現されます。これにより、従来方式では別々の運用/管理となっていたスイッチ、ルーター、無線 LAN アクセスポイントなどのネットワーク機器を一元化/簡素化/自律化し、アライドテレシス独自の高効率ユニファイドマネジメントシステムをご提供します。

### 【AMF コントローラー<sup>(※2)</sup>による分散マスター処理】

- ・1 台のローカルマスターが最大 120 台のスイッチ、UTM&VPN ルーターと最大 120 台の無線 LAN アクセスポイントを管理し、合計 240 台のノードを管理します。
- ・1 台のコントローラーが最大 60 台のローカルマスターを管理することにより、最大 14,400 台のノードを管理します。
- ・各ローカルマスターがローカルサイト内のノード管理を分散処理するためセンターサイトへのトラフィック集中を抑制します。

(※1) AMF(Allied Telesis Management Framework)は、一元管理、分散マスター処理、自動構築、自動復旧、非 AMF 装置対応の 5 つの機能によって構成され、ネットワーク運用・管理の「一元化」「簡素化」「自律化」を実現し、ネットワーク運用・管理にかかるコストや必要となる技術スキルを大幅に低減することが可能です。

(※2)別売の新製品「SBx8100(CFC960)用 AMF コントローラーライセンス」が必要です。また、無線 LAN アクセスポイントの管理には、別売の新製品「SBx8100(CFC960)用ワイヤレスマネージャーライセンス」が必要です。

### <ファームウェア AW+5.4.5-0.1 でサポートした主な機能>

- ・AMF コントローラー機能、分散マスター処理

### <対象製品>

製品名	標準価格 (税別)
AT-SBx81CFC960	¥3,000,000

### <新製品>

製品名	標準価格 (税別)	リリース予定日
AT-CFC960-FL05	¥3,000,000	5月8日
AT-CFC960-FL06/40(SBx8100(CFC960)用ワイヤレスマネージャーライセンス(40AP))	¥1,100,000	5月8日
AT-CFC960-FL06/80(SBx8100(CFC960)用ワイヤレスマネージャーライセンス(80AP))	¥2,000,000	5月8日
AT-CFC960-FL06/120(SBx8100(CFC960)用ワイヤレスマネージャーライセンス(120AP))	¥3,000,000	5月8日

<<製品に関するお問い合わせ>>  
0120-860442

<http://www.allied-tesis.co.jp>

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>  
マーケティング・コミュニケーション部 田中 利道

Tel:03-5437-6042 E-Mail: [totanaka@allied-tesis.co.jp](mailto:totanaka@allied-tesis.co.jp)

**アライドテレシス株式会社 東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル**